




校長室だより No. 18  
(平成 29 年 2 月 28 日)

 泉大津市立上條小学校  
校長 松田 義広

<http://izumiotsu-ed.jp/e-kamiyo/hp/>

ホームページでは、日々の学校の様子をお伝えしています。

ひと雨ごとに春へと。しかし、真冬ではないかと感じさせられる日、春の訪れを感じさせられる日と、気温の急激な変化に戸惑います。きっと皆様も体調管理に苦勞されていることと思います。

さて、10日(金)に3・4・5年の授業参観・懇談会を、17日(金)に1・2年の授業参観・懇談会を、24日(金)に6年の巣立ち参観を実施いたしました。お忙しい中、ご来校いただき有難うございました。子ども達も精一杯準備・練習し、一人ひとりが1年間の成長の成果を発揮できたと思っています。

### 3月の行事予定

3	1	水	教科部会 学校協議委員会 ★	3	15	水	給食終了日(6年) 卒業式準備 読み聞かせ(2年)
3	2	木	SSW 6年生を送る会	3	16	木	卒業式
3	3	金	ALT(3年) PTA実行委員会	3	20	月	【春分の日】
3	7	火	児童朝礼 前期児童会役員任命式	3	21	火	車イス体験(4年) かみじょう認定こども園卒園式
3	8	水	読み聞かせ(1年) 小津中宣伝プログラム&体験授業(6年:小津中)	3	22	水	給食終了日 ★
3	9	木	学びっ子最終日 ★	3	23	木	<12:00>
3	10	金	ALT(6年)	3	24	金	修了式 <10:30>
3	13	月	卒業式予行	3	28	火	PTAエプロン補修
3	14	火	児童朝礼 点字体験(4年) 小津中学校卒業式				

★学校に遊びの来られない日 下校時刻< >

### 4月当初の主な行事予定

6日(木) 入学式準備 7日(金) 入学式 10日(月) 始業式

### 上條小学校は、創立から142年【2016年(平成28年)現在】

学校の沿革を紐解くと、

明治5年7月 助松村海蔵寺に出張所として本校ができる。(開設より144年)

明治7年6月 助松蓮正寺において助松小学校として創立。(創立より142年)

とあります。過去の資料によると1974年(昭和49年)に100周年の記念式典を行っており、今後は明治7年創立を基準として表すことに統一いたします。

2024年に創立150年を迎えることとなります。

## クラブ表彰(市内親睦大会)

[2月14日(火) 穴師小学校にて]

サッカークラブの親睦大会で優勝しました。おめでとうございます。



## 平成 29 年度 前期児童会役員が決まりました

平成 29 年度前期児童会役員選挙が、21日(火)に行われました。35名もの立候補者があり、上條小学校の課題解決に向けての公約を演説しました。また、3年生が初めて児童会役員選挙を経験しました。3月7日(火)の児童朝礼にて任命いたします。活躍を期待しています。



## 上條小学校・学校教育アンケート(学校教育診断)

保護者の皆様と4～6年生に実施いたしましたアンケート結果を報告します。今後の参考にさせていただき、よりよい学校づくりにいかしたいと思っております。ご協力をありがとうございます。

解答の中で「A よく当てはまる」、「B ややあてはまる」の肯定的な意見をまとめたものです。(単位は、%です)

	診 断 内 容 ( 保 護 者 )	A+B(%)
1	学校は校長室だよりやホームページをはじめ、教育方針や子どもたちの様子をわかりやすく伝えている	95.3
2	学校は、保護者・地域の願いに応えようと努めている	90.8
3	学校は、授業参観など、保護者が来校する機会を設けている	98.2
4	先生たちは子どものことについて適切に相談に応じてくれる	89.8
5	先生たちは子どものことを理解するように努めている	92.8
6	通知表や懇談会で子どもの学力や課題や成果がわかる	87.6
7	学校が保護者宛に出すプリントの内容はわかりやすい	93.3
8	地震・台風などの対応（臨時休校など）について知らされている	98.0
9	学校行事（運動会・遠足・修学旅行など）は充実している	96.8
10	子どもは、楽しく学校に通っている	91.9
11	子どもは、宿題や学習用具の準備など、親に言われなくてもしている	71.2
12	家庭で親子の話し合う時間を持つよう心がけている	92.8

	診 断 内 容 (4～6年児童)	A+B(%)
1	学校へ行くのが楽しい	92.1
2	先生方の授業や話は分かりやすい	95.6
3	授業で分からないことについて、先生方に質問しやすい	86.0
4	担任やほかの先生方に困っていることで相談できる人がいる	82.8
5	いっしょに遊んだり、困ったときに相談できる友だちがいる	94.7
6	学校行事（運動会・遠足・修学旅行など）は楽しい	97.0
7	授業で学んだことは自分の将来に役立つと思う	93.3
8	学校のきまりは、しっかり守らなければならないと思う	99.3
9	地震や火災などが起こった時、どうしたらよいかわかっている	98.3
10	学校の施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる	89.4
11	朝の読書や図書の時間を通じて本を読むようになった	85.8
12	宿題や学習用具の準備などを言われなくてもすすんでしている	88.8
13	家庭で家族とゆっくり話をすることがある	84.1

## 【上條今昔話】

### 上條校区の歴史～助松地区の歴史 14～ 西国三十三度供養塔

助松村境石造物群には和泉砂岩でできた「西国三十三度供養塔」が3基残っています。西国三十三所観音巡礼とは、『法華経』「観世音菩薩普門品」に説かれている、観音菩薩が33の姿に変化して衆生を救済するという思想にもとづいて中世にはじまったとされます。近畿2府4県と岐阜県に33か所の観音霊場札所があり、これらを巡礼することでご利益が得られるとされます。3基の塔は、いずれも宝篋印塔(ほうきょういんとう)という形式でつくられています。側面にはいずれにも「宝篋印陀羅尼経」の一節である「経曰 以一香一華於此塔礼拝供養滅八十億劫生死重罪(一華一香を以って此の塔に礼拝供養するに於いて八十億劫生死重罪を滅す)」の文字が刻まれています。

塔にはいずれも「御室御所参入 先達五人之内 大願主〇〇」の記載がみえ、御室御所(仁和寺)に参入した先達5人の内の1名が願主となっていることがわかります。文化5年(1808)の大願主は「覚深」、弘化5年(1848)は「覚心」で、残る1基は「覚山」ですが、建立年部分が欠けています。文化5年から弘化5年では40年の隔たりがあります。

伝承によると、宝篋印塔はムラの庄屋年寄役3家によって文化5年に建立されたのがはじめとされています。その後、天保の大飢饉で村人や旅人が多数亡くなり、その供養のため嘉永3年に施餓鬼が行われ、そのときに大坂から2基の宝篋印塔が寄進されたといわれます。ただ、嘉永3年銘の宝篋印塔が確認できないため、この話はあくまで伝承の域を出ません。



(泉大津市教育委員会生涯学習課に資料提供して頂き掲載しています。)